

教師の助言（例）

助言すべき内容・場面

- ・話し合いが混乱したときや提案理由などからそれたとき
- ・人権を侵害するような発言があった場合

助言すべきではない内容・場面

- ・決定に関わる発言
- ・教師自身の賛成意見や反対意見

【事前の指導】

- ①議題の提案に関すること
 - ・今の話を議題カードに書いてみたらどうかな。
 - ・今、話し合うとよいことは何だろう。
- ②議題の選定に関すること
 - ・自分たちでできることかな。
 - ・みんなで話し合うべき議題になっているかな。

【話し合い】

- ①進行に関わること
 - ・多くの意見を聞けるように指名しよう。
 - ・発表の苦手な友達やあまり発表していない友達が挙手したときは、先に発言させてあげたいね。
 - ・こういうときはどうしたらいいかな。（司会が言葉に詰まったとき、全員に投げかける）
- ②発言が少ない場合
 - ・もう一度、みんなでノートに書いたことを確認しよう。
 - ・〇〇さんはどう思うかな。（「〇〇さんの意見がよいから述べてみよう」は避ける）
 - ・近くの人と話し合う時間をとってみよう。
- ③話し合いが深まらない場合
 - ・なぜ、〇〇よりよいと思うのかな。（表面的な理由が続いたとき）
 - ・今回の提案理由やめあてをもう一度確かめてみよう。
- ④自分の意見に固執、相手の意見を否定するような意見が出た場合
 - ・反対するのには、理由があったんだね。
 - ・〇〇さんの心配事、反対の理由に寄り添うことができ素晴らしいね。
 - ・（寄り添う姿勢があるから）〇〇さんも安心できたのだね。
 - ・提案者は、どんなことを大切に決定してほしいって言っていたかな。
- ⑤折り合いの付け方に関すること
 - ・今回の提案理由やめあては何だったかな。
 - ・反対ではなく、よいと思う意見はどれかな。（プラス思考で話し合いが進むように）
 - ・似ていて、まとめられる意見はないかな。
 - ・AとB、半分ずつやるのはどうかな。
 - ・少しでも叶える方法はないかな。
 - ・他の時にやれる人がいたら、誘ってあげたらどうかな。
 - ・それもよい案だったから、他の機会にやってみたいね。

【終末の話】

①みんなで話し合って集団決定することができたことを褒める

- ・ みんなでしっかり話し合って、自分たちで決めることができたね。
- ・ とてもよい考えに決めることができたね。
- ・ お互いの考えのよさを認め合いながら、一つの考えにまとめることができたね。

②前回の学級会と比べてよかったところ

- ・ いくつかの意見をよりよい考えにまとめていこうとしていたね。
- ・ 司会を助けて、話し合いを進めていこうとしていた。
- ・ 賛成や反対、理由をはっきりさせて発言できるようになったね。
- ・ 友達の意見をよく聞き、お互いの考えを認め合いながら話し合いを進められたね。
- ・ お互いの考えを比べ合いながら話し合って、提案理由に合った考えに決めることができたね。
- ・ 時間を意識して話し合いを進めていこうとしていたね。

③次回の学級会に向けての課題

- ・ 次からはもっと司会を助ける発言があるといいね。
- ・ めあてや提案理由を意識した発言が増えるといいね。
- ・ 友達の考えのよさを認め、まとめていく発言が増えるといいね。
- ・ 反対するだけでなく、どうすれば実現できるかを考えた前向きな発言が増えるといいね。
- ・ ほかの意見と比べながら自分の考えを発言できるようになるといいね。

④司会グループへのねぎらい

- ・ 上手に話し合いを進め、黒板にわかりやすく書くことができたね。
- ・ 今回の学級会のために、計画委員がしっかり準備してくれました。

⑤実践に向けての意欲付け

- ・ 楽しい集会になりそうだね。
- ・ ○日の活動が楽しみだね。準備も協力してやっっていこう。